

モデルファイル利用者ガイド

2018年から提出するモデルファイルの様式を変更しました。

今後のモデルファイルは、従来のモデル図を記載したファイルの冒頭部にアブストラクトページを追加した1ファイルの形式になります。この変更に伴い、従来のコンセプトシートは廃止しました。

提出モデルファイルの様式

提出モデルファイルの様式は、次のようになります。

- 1ページ目：アブストラクトページ
- 2ページ目以降：モデル図ページ

想定する作成用アプリケーション

実行委員会が提供するモデル図ファイルテンプレートは、パワーポイントのうちセクションを使うことができるバージョン（MS Office 2010以降）を想定しています。セクションが使えない古い版のパワーポイントでも、テンプレートに設定してあるセクションは認識できませんが、テンプレートは利用可能です。

このテンプレートは、アブストラクトページとモデル図ページの全体で1ファイルに構成するときを想定して、審査規約に対応したダミーのモデル図ページを追加してあります。構成を確認するためにも、このテンプレートを元に提出モデルファイルを作成することを推奨します。また、このテンプレートのスライドマスターには、新規作成時に付与されるマスターの他に、アブストラクトページ用のマスターが登録されています。アブストラクトページには、アブストラクトページ用のマスターを使うようにしましょう。

他の作成方法について

パワーポイントを使わないで他のアプリケーションで作成し、その後PDFに変換して提出する場合であっても、提出モデルファイルの構成に従って、アブストラクトページとモデル図ページで1ファイルに構成して提出してください。

例えば、アブストラクトはパワーポイントで作成し、モデル図ページは別のアプリケーションで作成した場合、それぞれをPDFに変換した後、1つのPDFファイルにマージしてから提出することになります。

別々に分けて作成する場合は、用紙サイズ、解像度、使っているフォントの違いなどに気をつけ、全体を1つにまとめたPDFをA3横で印刷したときに不具合がないことを確認しておきましょう。

アブストラクトページの概要

アブストラクトページは、予め様式が定められています。

実行委員会が提供するモデル図ファイルテンプレートでは、アブストラクトページ用のマスターが用意してあります。このマスターでは、主だった要素をマスターの背景画像にしてあります。これは、各チームのアブストラクトページを一貫性のあるページとして提示することや、運営側が画一的に処理するために工夫したものです。これらの要素を加工したり、編集したりしないでください。

チーム情報

チームNo.、チーム名、所属、地区には、エントリしたときの情報を記載してください。それぞれについて記載に間違いがあれば、訂正を求められる場合があります。

チーム紹介、目標、意気込み

チームから、審査員や見学者へチームの紹介や意気込みなどを伝える文章を書きましょう。

ただし、利用できる大きさは、テンプレートで提示している範囲までです。この領域を加工・編集して拡大した場合には、訂正を求められる場合があります。

モデルの概要

ここに書いた説明で、モデル図全体を読んで得られる分析、設計の全体像、重要なポイント、効果や実績を捉えることができるようにまとめます。

モデル図ページは4から5ページあります。これを限られた時間で詳細まで読むのは容易ではありません。もし、記載されている内容を短くまとめた概要があれば、全体像を把握してもらうときに役立つでしょう。そのためには、みなさんのモデルの内容を端的に伝えることができるよう、うまくまとめて概要とすることです。

みなさんが作成したモデル図に記載されている情報をうまくまとめてみましょう。概要は全体の縮図です。補足や追加、別の主張（モデル図に書いていないことを説明する）といったことを指していないことに注意してください。

全角で300文字程度にまとめてください。

審査や、会場で掲示して見学者が読む都合から、文字サイズは16ポイント以上にしましょう。

モデルの構成

ここに書いた説明で、どのように分析設計が進められ、分析に何が書いてあるか、設計の何が書いてあるか、制御として何に取り組んでいるか、それらがどのようにつながっているか、といったことが把握できるようにします。

モデル図の各ページの構成要素（図や説明）としてどのようなものがあり、それらの構成要素間の関連について説明しましょう。

説明に有効であれば図を用いても構いません。

審査や、会場で掲示して見学者が読む都合から、文字サイズは16ポイント以上にしましょう。

モデル図ページの概要

モデル図ページは、エントリーしているクラスの審査規約に従って構成します。

モデル図ファイルテンプレートの使い方

実行委員会が提供するモデル図ファイルテンプレートは、次のようになっています。

- マスターページ：アブストラクトページ用、モデル図ページ用
- スライドページ：審査規約に合わせたダミーページ

マスターページ

スライドマスターには、次のマスターが登録してあります。

- アブストラクト用（アドバンストクラスまたはプライマリークラス用）
- デザイン設定（パワーポイントで新規作成時に提供されるマスター）

アブストラクト用スライドマスターは、アブストラクトページに使うものです。
アブストラクトページのスライドマスターは変更しないでください。

アブストラクトページのスライドを作成するときは「ホーム>スライド>レイアウト」で開くメニューからアブストラクト用のスライドマスターを選んでください。

デザイン設定は、一般的なスライドマスターです。モデル図ページの作成には、これを編集してモデル図ページのスライドマスターとします。もし、別のファイルからスライドをインポートする場合には、スライドマスターもインポートしましょう。

スライドページ

実行委員会が提供するモデル図ファイルテンプレートは、次のセクションを持つダミーのスライドが用意してあります。

- アブストラクトページ
- モデル図ページ

それぞれに、別のスライドマスターが設定してあります。

提出モデルファイルを作成する際は、このテンプレートを元にするといでしょう。

サンプルモデル図について

新しい様式に従ったサンプルのモデル図を用意しました。
サンプルモデル図には、次の役割があります。

- アブストラクトページの例示
- 提出ファイルの新しい様式の例示

提出モデルファイルの作成の参考にしてください。

なお、このサンプルに使っているモデル図は2017年のものです（SOROT☆SCSKQ の協力で流用しています）

2018年とは競技内容そのものが異なるほか、モデル図の構成が異なっているところがあります。どのように構成し、どんな内容を記載するのかについては、必ず2018年の規約を確認しましょう。

以上。